



府中地区保護司会だより

第40号

発行責任者 府中地区保護司会
会長 谷 合 隆 一



創立20周年記念式典 平成28年12月9日

創立二十周年記念事業を終えて

保護司活動の更なる充実・発展を



府中地区保護司会副会長 加藤 茂

府中地区保護司会・更生保護女性会が創立二十周年記念式典を開催しましたところ、保護観察所関係者・府中市関係者・関係団体代表者・歴代会長・府中地区桐友会、多数の来賓のご臨席を賜りました。総勢百二十四人の参加をいただき、大國魂神社櫻・桂の間の会場にて行われました。主催者である谷合隆一・伊藤ゆきえ両会長の挨拶から始まり、来賓祝辞・紹介後、東京保護観察所立川支部長村木康弘様の乾杯で祝賀会が始まりました。アトラクションは府中離子保存会本町支部の皆さんの囃子、更生保護女性会による「愛をみんなで」の踊りと歌をご披露頂きました。そして、会場の皆が一つになって「府中小唄」を踊り、その後、松本俊雄・保坂昌代両実行委員長にご挨拶をいただき、盛況な式典を執り行うことができました。

また、記念事業の一環として両会合同編集で創立二十周年記念誌も発行することができ、誠にありがとうございました。

平成八年に、調布・狛江・府中の三つの分區で構成された北多摩南地区保護司会から、現更生保護女性会と共に独立し、現在に至っております。北多摩南地区府中分區として活動しておりました時期も含め、私達がここまで活動を続けて来られたのは、東京保護観察所はもちろんのこと、東京保護司会連合会や多摩地区保護司会連絡協議会、府中市をはじめ本場に多くの関係機関の方々に支えていただいたお陰であると思います。また、何よりも地域の保護司としての会の活動を繋いで来られた先輩方がいたからこそ、今日を迎えることができましたのだと思います。あらためて皆様にご心より感謝を申し上げます。この二十周年という節目に、私達自身がいろいろなことを学びました。これを府中地区保護司会の糧とし、会一丸となって更生保護活動に携わっていきたいと思います。今後とも皆様のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

祝 創立20周年

府中地区保護司会・更生保護女性会は20周年を迎え、平成28年12月9日に大國魂神社において記念式典が開催されました。



第七ブロック保護司組織

運営連絡協議会に参加して

研修部 原田 勝彦

第七ブロックは北多摩北地区（小平、東村山、清瀬、東久留米、西東京）、北多摩東地区（武蔵野、三鷹、小金井、国分寺）、北多摩西地区（立川、昭島、国立、東大和、武蔵村山）、府中地区、調布・狛江地区で構成されています。

今回の第七ブロック保護司組織運営連絡協議会のテーマは、「保護司の研鑽活動を考える」でした。保護司法第九条第一項に「保護司はその使命を自覚し、常に人格識見の向上とその職務を行うために必要な知識及び技術の習得に努め、積極的態度をもってその職務を遂行しなければならぬ」と定めてあります。さらに平成十一年施行の保護司法の一部改正に伴い、保護司の職務に関する研鑽が任務の一つとして規定され、保護司会が主催する自主活動の位置づけが明確になりました。また、保護司の研鑽活動は、こうした規定を踏まえて行われており、今回は研鑽活動を推進する研修部が府中地区を代表して発表しました。府中地区

保護司会からは、谷合会長をはじめ合計十五名が参加しました。

府中地区からは、年六回の実務研修、日帰り研修、宿泊研修、サポーターセンターについての発表をしました。その発表の中では「時代を見据えた研修や定例研修の予習復習になる研修」等が大変注目を浴び、参加者の皆さんから質問が多くありました。

会員の皆様の日頃からの協力に改めて感謝申し上げます。有難うございました。



平成28年10月20日 調布にて

広報部 市毛 彰

保護司になり一年になります。「第七ブロック保護司組織運営連絡協議会」に参加してみたら・・・との誘いがあり参加しました。府中地区の保護司が一堂に集まる会に初めて参加した時に「こんなに更生保護活動に尽力している人がいるのか」と感動しましたが、さらに広範囲の第七ブロックの保護司の皆さんに会うことができて更なる感動がありました。近隣地区の保護司間の交流は大変意義のあることだと感じました。今後こうした交流会には積極的に参加し情報交換をしたいと思えます。

府中警察だより

府中警察署生活安全課少年第一係
統括係長 齋藤 則夫

日頃より更生保護活動等を通じて地域社会の発展に貢献されていることに、深く感謝申し上げます。

府中警察署管内における平成二十八年中の少年犯罪の検挙件数等をお知らせいたします。

はじめに、刑法犯で検挙された少年は五十三名おり、このうち、窃盗事件による検挙が三十四名と最も多く、中でも万引きによる検挙が十六

名で、窃盗事件の半数近くを占めております。窃盗に次いで多いのが、自転車などの占有離脱物横領で、こちらは十名が検挙されております。

なお、万引きについては小学生が半数近くを占めるなど増加傾向にあり、中学生については減少しております。

次に、街頭補導活動による補導件数は四百六十四名で、深夜徘徊の三百三十五名が最も多く、次いで喫煙が五十五名で、そのほとんどが高校生以上の者となり、中学生が補導される大半を占めたのはゲームセンターへの午後六時以降の立入りでした。

最後に、スマートフォン普及により、ネットトラブルが低年齢化し、増加しているなか、当署管内でも、SNSで知り合った男子高校生に脅迫される事案も発生しており、不登校からスマホ依存、更に、SNS利用による不健全交際等も増加しております。

この様な事案を防止するため、当署では学校等と協力の上、小中高生に対する安全教育の強化を図っていくことから、地域の子どもの見守りや保護司会・学校との連携委員会でのご支援をお願いいたします。

連携のさらなる深化のために

「中学校生活指導主任会と保護司との懇談会」報告

◆平成二十八年 十一月十五日（木）

府中グリーンプラザ 展示ホール

学校との連携委員会 委員長 杉浦 渉

今年度で十五回目となる懇談会は、

保護司会と生活指導主任会双方からの基調提案をもとに、グループ協議を行う形で行われた。参加者は、府中市立中学校生活指導主任会から十二名、関係諸機関から九名、そして府中地区保護司会から三十三名の総勢五十四名。

進行は、西谷照代・学校との連携委員会副委員長が務めた。

（一）主催者挨拶

谷合隆一・府中地区保護司会会長

* 来賓挨拶

（二）来賓挨拶

○村木康弘・東京保護観察所立川支部長

○浅沼昭夫・府中市教育長

○桐川 勲・中学校生活指導主任会委員長（府中第二中学校長）

（三）基調提案①

○府中地区保護司会 K・T保護司（主旨）担当する保護観察の実情を報告するとともに、対象者に寄り添った指導、助言を心掛けて努力している点を述べた。その中で、「立ち直りとは結果ではなく状態であること」を強調した。また、学校教育と保護観察の接点について触れ、行動連携の検証とさらなる深化について提言がなされた。

基調提案②

○古賀 旭・府中第八中学校生活指導主任

（主旨）インターネットやSNSに係わるトラブルから子供たちを守るために、生活指導主任会が平成二十年

度から取り組んできた経緯を報告した。さらに、近年におけるネット社会の多様化、複雑化に対応するため、昨年度は市内すべての中学生・

保護者にアンケート調査を実施して、ネット利用の実態を明らかにし、指導課題を明確にしたことが報告された。

* 四グループ別討議と発表

二つの基調提案を受ける形で、四つのグループに分かれて熱心な討議が行われた。その内容は、グループの代表者による発表によって、全体に共有された。

* 五閉会の言葉（小澤秀敏・学校との連携委員会副委員長）

引き続き会食と歓談に移り、それぞれ立場からの情報交換が行なわれ、有意義の内に散会した。



▶懇談会の詳しい内容は、3月発行予定の「学校との連携委員会 活動報告書」に掲載されます。

更女の活動

府中地区更生保護女性会

副会長 吉村 博子

今年度は、新しい活動として府中公園にて「福祉まつり」に参加、市民の多くの皆さんに更生保護女性会をアピールすることができました。

地域活動部を中心に府中第一中学校・府中第二中学校の道徳授業を参観し中学生と交流を深めました。

研修部の活動では、八王子少年鑑別所を見学、渡邊悟所長より詳しく説明を受け研修することが出来ました。

広報部では年一回広報紙を発刊しています。府中更女だより、二十一号として、二十周年記念号を発刊しました。

その他各施設訪問・幼稚園・保育園等の行事に出席。府中市の子育て支援に多くの会員が参加協力し自己研鑽に励んでいます。

今年度は保護司会と共催で「創立二十周年記念式典」が開催されました。記念誌作成においては実行委員の皆さまにご協力いただきました。祝賀会では「愛をみんなで」の踊りと歌に出演し式典に華を添えることができました。

これからも更女の活動に励んでまいります。



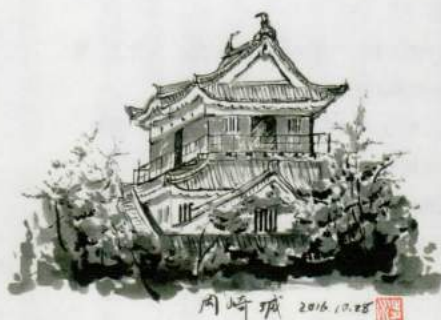
岡崎医療刑務所前にて

地域活動部による企画・立案で十月二十七日から二十八日にかけて、岡崎医療刑務所と岡崎城・三河武士のやかた家康館に研修に行ってきました。

当日は、天気恵まれ府中を出発し、袋井観光センターにて昼食。その後、岡崎刑務所に到着、この刑務所の小林ひろみ総務部長（全国初女性部長職）より、施設概要の詳しい説明があり施設の重要性を知りました。

岡崎医療刑務所（愛知県）を見学して

地域活動部長 山本 裕章



画：杉浦

この刑務所は、名古屋刑務所岡崎刑務支所から昭和四十六年に本所に昇格し、岡崎医療刑務所になりました。ここでは精神になんらかの障害をもった男子受刑者を収容し、専門治療処遇（精神療法・薬物療法・生活療法）を実施しています。

医師、看護師及び処遇担当者との密接な連絡、他の矯正施設の職員や精神保健福祉士及び社会福祉士の協力を得て、カウンセリング、療育手帳などの取得等を行っています。

小林部長の説明を受けた後、施設の見学を行いました。職業訓練所で



西浦温泉ホテルからの夕日

は、園芸（洋蘭等の栽培）や陶磁器製造等を行っていました。見学後に陶磁器の販売をしていたので、陶磁器を購入している方もいました。

受刑者は、精神障害を持つ為、出所後も指導や治療、家族との調整・医療機関との連絡調整なども行っていると聞き大変だと思いました。

宿泊先の西浦温泉ホテル東海園できれいな夕日を見ることが出来ました。

翌日は、岡崎城の天守閣から岡崎市内を展望、八丁味噌の郷を見学、名古屋名物味噌煮込み鍋を食べ帰路に就きました。意見・情報交換が出来た。いい研修だったと思いました。

多摩連の全体研修会

府中地区保護司会副会長

北島 章雄

多摩地区保護司会連絡協議会（多摩連）は、多摩九地区の保護司会の情報交換を行い連携を密にし、保護司活動の充実をはかるために組織されています。平成二十七年の多摩連保護司研修会は、「福祉的視点で考える更生保護」というテーマで、山本讓司氏による講演で多摩管内保護司約百四十名が出席しました。

今年度は、事業内容の変更点があり、多摩地区全保護司を対象に、保護司全体研修会を開催することが決まりました。多摩九地区の保護司会の方全員（約千人）が一堂に会することは今までになかったことであり、その開催場所が「府中の森芸術劇場」になりました。

平成二十九年二月十六日、講師に水谷修氏を迎え、

『あした、笑顔になあれ
〜夜回り先生いのちの授業〜』をテーマにご講演いただきました。

当日、多摩連研修部副部長として谷合会長が司会を務めました。

「刑の一部の執行猶予制度について」
第Ⅱ期地域別定例研修の復習

平成28年6月から「刑の一部の執行猶予制度」がスタートし、同年10月の定例研修でも取り上げられました。その時の内容を振り返りながら、以下の問題をやってみてください。（出題は主任官が用意されたものの一部です）

正しいものには○、誤りには×をつけて下さい。

- ① 新たに創設された刑の一部の執行猶予制度は、薬物使用の罪を犯した者のみを対象としたものである。
- ② 新たに創設された刑の一部の執行猶予が適用され得るのは、実刑前科がなく、今回初めて刑事施設で受刑する者に限られる。
- ③ 新たに創設された刑の一部の執行猶予では、条文上、再犯防止の観点が明記された。
- ④ 3年を超える懲役又は禁錮を言い渡す場合でも、刑の一部の執行を猶予することができる。
- ⑤ 刑の一部の執行猶予の言渡しを受けた者は、裁判所の定めた実刑期間を満了すれば、帰住先の有無にかかわらず釈放されることになる。（答えは、8ページ）

【 広報部のこれから 】

更生保護を取り巻く様々な変化に対応しつつ、広報部においても第40号広報紙発行を機に、以下のような点に留意しながら活動を進めていきたいと思っております。

新しい保護司活動の紹介

- ・社会貢献活動
- ・ケースの複数担当制
- ・再犯防止推進等

情報の発信

外部への取材（他地区保護司会との交流等）

保護司会コラムの展開

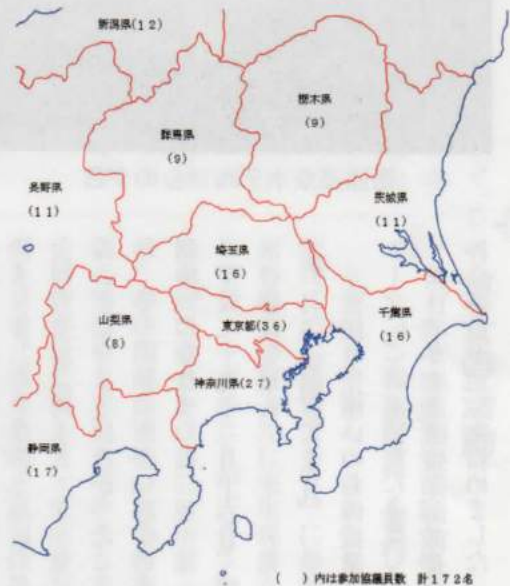
（写真・イラスト募集中）

部員一人一役をモットーに、紙面作りやその他の活動の充実をはかる

解説ご希望の方は広報部長まで

関東地方保護司代表者協議会

《1都10県の保護司が参加》



昨年十月十二・十三の両日、平成二十八年度関東地方保護司代表者協議会が、埼玉県さいたま市で開催された。この協議会は、関東地方更生保護委員会管内（一都十県）の保護司が集まって、毎年二日間にわたり開かれていく（今回参加は百七十二名）。

初日は、講演の後、「保護司活動の充実に向けたネットワークを構築し、効率的運用を図るために配慮すべき事項について」を共通のテーマとして、二つの分科会に分かれて活発な協議が行われた。

刑の一部の執行猶予制度施行後、処遇困難な保護観察対象者の増加が見込まれる現状で、色々な試みが発表されたが、保護司会が商工会議所

に加盟し、就労支援につなぐ（栃木県足利地区）、いくつかの連携機関を回って連絡協議会を発足させ、「犯罪・非行相談」をスタートさせる（長野県諏訪地区）など多くの参加者の関心を引いたようだ。

二日目は、関東地方更生保護委員会事務局長古田康輔氏による講話「地域と更生保護の関係を考える」があり、地元住民反対の中で、更生保護施設を設ける際の経験等が語られた。全体会、講評と続き、多摩地区や東京都より更に広いエリアで保護司同士の交流もでき、大変充実した、そして新鮮さもある研修となった。

（広報部長 大沢 美保子）

受賞者

平成二十八年度(秋)

○府中地区保護司会
法務大臣表彰

全国保護司連盟理事長表彰

全国保護司連盟理事長表彰

内助功労

関東地方更生保護委員会委員長表彰

関東地方保護司連盟会長表彰

東京保護観察所長表彰

東京保護観察所長感謝状

家族功労

高野 佳子

須藤 光忠

西腰美恵子

谷合美代子

野口 良子

朝倉 俊夫

市川 耕作

小澤 量

堺 美佐子

佐藤 新悟

田中 節子

内藤 安雄

原田 勝彦

伊藤 仁

小澤 秀敏

佐藤 政利

那須 史子

奈良崎芳恵

室 惇子

西腰 英一

東京都保護司会連合会会長表彰

小川 晴美

杉浦 渉

隆 ミワ子

田中 陽子

内藤 治

奈良 元俊

古川 耕央

若松 正子

須藤 光忠

高野 佳子

三浦智恵美

赤塚 正坦

野口 良子

田中 篤也

石川三三代

内田 清美

久村 秀子

若松 正子

延藤百合子

福島 麗子

吉野 秀子

六十周年記念

東京更生保護女性連盟会長感謝状

東京更生保護女性連盟会長感謝状

東京更生保護女性連盟会長感謝状

東京更生保護女性連盟会長感謝状

東京更生保護女性連盟会長感謝状

東京更生保護女性連盟会長感謝状

東京更生保護女性連盟会長感謝状

東京更生保護女性連盟会長感謝状

東京更生保護女性連盟会長感謝状

その他の活動

九月

・東京都薬物乱用防止推進地区協議会及び研修会

十月

・府中刑務所 運動会

・社会貢献活動 安立園

・社明 立川あすなるフェスタ

十一月

・府中刑務所 文化祭

・危険ドラッグ撲滅都民大会

十二月

・特別研修

・「薬物事犯対象者の処遇について」

・関東医療少年院クリスマス会

二月

・平成二十八年度青少年健全育成地区委員会連絡会

・保護司、更女、BBS会員

・連携強化研修

・特別研修

・「発達障害を持つ対象者の処遇について」



府中地区保護司会コラム③ 「ホゴちゃんの着ぐるみ体験談」

地域活動部 若松正子

「着ぐるみってこの時期暑くて大丈夫？倒れないでね。」などと言われながら7月12日着てみました。愛嬌あるホゴちゃんの初登場です。皆から握手を求められ不安でしたが、予想より軽く涼しくとても柔らかい体、中は広く、ゆったりしています。

この日はペペさんの歌と一緒に踊るホゴちゃんの手と足が短いだけに表現が難しいのです。

でもホゴちゃんの目の小さい窓から見える皆さんの笑い転げた顔と声、拍手、心がホゴちゃんと一心同体でないと味わえない達成感、改めて引き受けて良かったと思いました。そして、搬入、搬出、付き人、地域活動部の皆さんのチームワークのよさには驚きました。

保護司の皆様、ご来場下さいました観客の皆様、こんなに楽しい体験をさせて頂き、感動と感謝でいっぱいです。大変有難うございました。



「36年を振り返って」



松本 俊雄

この度、平成二十八年十二月二十一日任期満了により保護司を退任致しました。当日は東京保護観察所に於いて幸島聡所長より法務大臣感謝状の伝達と労いの言葉を賜わり、大過なく退任出来た喜びを改めて実感しました。

昭和五十五年十二月当時の北多摩南地区府中分区配属となり、平成八年府中地区発足以来三十六年間保護司活動が出来ました。ここに家族の協力と共にご指導・ご支援いただきました桐友会先輩、会員の皆様、東京保護観察所・同立川支部、府中市等関係の皆様にご心より感謝申し上げます。

在任中の数々の対象者との思い出と共に、お世話になりました人々とのおふれあいとご厚情は、私の生涯の財産として今後とも大切にしていきたいと思えます。退任後は微力ではありますが、側面より地域の為に協力できればと思えます。

二十周年の大きな節目を迎え、谷合会長を中心に更なる発展と会員・関係者のご健勝・ご活躍をご祈念申し上げます。

「うれしい電話」



土田 三澄子

先日、思いがけない電話がありました。

「十六才の時お世話になったままお礼を言っていないかったです。」というN君からで、現在二十七才、五才の子どももいるそうです。「立派に自立していることが何よりのお礼よ」と言いながら、仕事帰りにだぶだぶのズボン姿で来訪してきたN君の顔を、はつきりと思いついていました。「七転八起」や「転んでもただでは起きない」と言った私の言葉をずーっと考えていたそうです。

ある夏の夕方、「これから花火を観に行くので浴衣を着せてほしい」と飛び込んできた日の事も懐かしく、「また、会いに行つていいですか」と聞かれたので、「近所のオバサンとしてね」と答えました。

これからの人生も、更生保護の精神を忘れることなく、関わってきた人達の幸せと、平穏を願いながら過ごしていきたいと心から思った嬉しい出来事でした。

最後に府中地区保護司会の発展と皆様のご健勝・ご活躍をお祈りして退任の御挨拶と致します。

新任紹介

平成二十八年十二月二十二日付



地域活動部
市川 勉



研修部
崎山 弘



研修部
林 宏至

編集後記

二十年の歩みを三回にわたり掲載をしてまいりました。座談会では、先輩方の貴重なお話や、アンケートによるコメントなど、懐かしく思われた事と思います。

また、十二月には二十周年記念式典が盛大に行われ、同時に大変立派な記念誌も完成し、また新年度が、スタート出来る事と思います。保護司会だよりを通じて、新たな情報をお届けしたいと考えております。

発行にあたりご協力を頂きました皆様へ厚く御礼申し上げます。ありがとうございました。

伊藤 仁

広報部

| | | |
|-------|-------|-------|
| 部長 | 大沢美保子 | 伊藤ゆきえ |
| 副部長 | 堺 美佐子 | 杉浦 渉 |
| 書記 | 伊藤 仁 | 内藤 治 |
| 会計 | 野口 良子 | 中込八重子 |
| 赤塚 正坦 | | 市毛 彰 |

題字は高野市長の揮毫によるものです

「刑の一部の執行猶予制度について」 問題の答え

- ① ×
- ② ×
- ③ ○
- ④ ×
- ⑤ ○

